

*Life · Culture & Welfare*

地域から発信 福祉を文化へ

# 静岡福祉文化を考える会



◇ 静岡福祉文化を考える会事務局 ◇

〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17

NPO 法人泉の会内 静岡福祉文化を考える会

☎054-367-2878 fax054-367-2884

# 「静岡福祉文化を考える会」の誕生とこれまで

福祉の改善・改革を「文化」の視点から検討する目的で、「福祉の文化化」「文化の福祉化」を掲げ、地域社会の様々な領域から、理論と実践をもとに1989年「日本福祉文化学会」が設立され、全国各地の福祉現場の実践家と福祉系を中心とする大学等の研究者の強固なネットワークにより、2019年で30年の節目を迎えた。

1996年3月、日本福祉文化学会から、「第11回日本福祉文化学会・公開型現場セミナー」を静岡県内で開催してほしい旨の要請を受け、10代から70代の約40名が実行委員会を結成し、企画運営、広報等多岐にわたり、セミナーの実現に向け準備に着手した。

静岡県浜松市で開催したセミナーの第1日目は、浜松こども園を会場に「福祉施設の現場実践に学ぶ」と題して、先駆的実践発表が紹介された。第2日目は、プレスタワーに会場を移し「基調講演」として、学会初代会長 一番ヶ瀬康子氏が、阪神淡路大震災の政府復興委員の立場から、震災と福祉文化をもとに「21世紀にむけて 福祉文化を拓く」を熱く語られた。そして「4つの分科会」では、「災害と福祉文化」「働く人たちと福祉文化」「環境と福祉文化」「高齢者・障害者の余暇文化」に参加者が熱心に議論を深めた。

フィナーレは、「静岡で語ろう、“福祉文化”を身近な地域から、自立と共生の21世紀へ」を全国各地から参集された延べ400名が確認し合い閉会した。

この尊いセミナー実現のプロセスを「静岡発 福祉文化の創造」として形にしようと、1996年9月、ここに「静岡福祉文化を考える会」が阪神淡路大震災1年後に誕生した。



## 目的

本会は、さまざまな福祉・ボランティア活動に携わる人と市民がいっしょに、地域が抱える生活全般のさまざまな問題を考え、その改善のために努力する。

## 活動基調

- (1) さまざまな分野で活動する人が、専門分野と世代を超えて交流を図る。
  - \* 「市民性と専門性」「理論と実践」を『融合』する努力
- (2) 会員だけが求心的・閉鎖的に集うのではなく、広く市民に拓かれた活動をする。
  - \* 「公開型研修会」で市民性を高める努力
- (3) 既存の福祉組織活動から取り残された問題や新しく発生した問題を大切に、常に市民生活に密着した活動をする。
  - \* 結成以来、「調査研究活動」を重視し地域課題を掘り起し、提言する努力

●大きな福祉文化の流れの中で、本会は「草創期」（会結成から実践活動6年間）、「協働期」（日本福祉文化学会静岡大会から6年間）、「実践融合期」（静岡県委託事業7年間）「共創社会実現期」（現在まで）の4つの流れを歩み続け現在に至る。



## 「静岡福祉文化を考える会」のこれまでの活動を紹介します。

### ■年次別活動テーマ

1996 年度：結婚とは ⇨ 1997 年度：共働き ⇨ 1998 年度：地域とは① ⇨ 1999 年度：家族とは ⇨ 2000 年度：父親とは ⇨ 2001 年度：ボランティア活動とは ⇨ 2002 年度：働く人の暮らし ⇨ 2003 年度：青年の生きがい ⇨ 2004 年度：地域とは② ⇨ 2005 年度：子どもと地域環境① ⇨ 2006 年度：子どもと地域環境② ⇨ 2007 年度：団塊の世代 ⇨ 2008 年度：長寿者の自立 ⇨ 2009 年度：長寿社会 ⇨ 2010 年度：生活圏域の支えあい ⇨ 2011 年度：生活圏域における一人一人の居場所を考える ⇨ 2012 年度：家族ってなにー真の居場所を問うー ⇨ 2013 年度：ここが一番、ホッと私たちのご近所の居場所づくり ⇨ 2014 年度：人々が豊かに暮らし合い、安心して暮らせる地域づくり ⇨ 2015 年度：静岡発、福祉文化の創造による豊かに暮らせる強い活圏域の地域づくり ⇨ 2016 年度：静岡発、福祉文化の創造とご近所福祉 ⇨ 2017 年度：集まる地域ぐるみの居場所を拓く ⇨ 2018 年度：子どもを育む地域づくりとは ⇨ 2019 年度：子どもを育む福祉コミュニティの再構築と地域ぐるみの支えあいの仕組み ⇨ 2020 年度：つながるご近所の再構築 決め手は一体何かーご近所福祉の復活、「近助」とは何かを探る

◇その年度における【地域課題】を活動テーマとし、活動内容を組み立て、理論と実践の展開をもとに考察し、その都度、地域社会に課題提起を続けてきた。

### ■公開型研修会のこれまでの取り組み

- (1) 合宿・現場セミナー 県内各地の社会教育施設を利用し、大学生や企業人、地域実践者等の参加をもとに、「朝まで生福祉」で大いに「福祉文化論議」で盛り上がる。主なテーマは「世の中どうなってるの?」「これでいいのか親子関係」「福祉の裏表」
- (2) 現場セミナー 「おもちゃ図書館」「障がい者の日々と介護」「地区社協とサロン活動」「介護体験から、利用者主体の施設づくりを考える」「言葉と文化/日本語を教える人々に学ぶ」等、県内各地に出向き、地域課題解決に取り組んでいる実践活動に学ぶ。
- (3) ワークショップ 年次別活動テーマをもとに、参加者主体（結成以来、外部講師を招かない）で、理論と実践をもとにまなびあい、ワークショップにより研修を総括し、それぞれ参加者が地元で実践する展開を試みる。（年間 3回～6回開催）
- (4) 福祉文化研究セミナー 2002 年（平成 15 年）に、「富士山麓、いのちと暮らしによりそう福祉文化の創造と推進」をテーマに「第 13 回日本福祉文化学会静岡大会」（裾野市・全国から 650 名参加）を契機に、「福祉文化の火」をいつまでも消さないようにと、今日まで「研究セミナー」として開催している。

### ■調査研究活動の取り組み

本会結成以来、年次別活動テーマに基づき市民の視点で「調査内容」を組み立て、県域において実施し、草津結果を公表するとともに、課題提起をする。

### ■機関紙「OUR LIFE」の発行

A4 版 4 ページ仕立て 年平均 5 回、毎回 200 部発行 県内関係機関・団体等に配布啓発に努める。

### ■協働による活動

「地区社協」「福祉団体」「福祉施設」「ボランティア団体」「市町社会福祉協議会」「大学」等と協働による活動を試みてきた。



これまでの福祉文化実践活動アルバム あれこれ



◇ 一緒に「福祉文化活動」に参加しませんか ◇

○福祉・ボランティア活動に関心のある方は、ぜひご参加下さい。原則、国籍・年齢・職業等は問いません。

◇ 会費：社会人 3,000 円 大学生以下 1,000 円

◇ 郵便振り込み口座 口座番号 00880-1-111151

名義 静岡福祉文化を考える会 代表 平田 厚

入会ご希望の方は、下記の用紙にご記入の上、事務局までご連絡ください。

入 会 申 込 書

ふりがな 氏 名	性別（男・女）	年代（10/20/30/40/50/60/70/80）
連絡先	〒	—
	TEL	fax
	E-mail	
職 業		
●入会の動機、これからの活動に望むこと等ご自由にお書き下さい。		